

# 検証

## 広陵町はホントに

# 「財政危機」なのですか

新聞報道などで広陵町の経常収支比率99.6で、県下ワースト4で大変と、「財政危機」をあおっていますが、町財政の実態は…。

### その① 毎年度の財政は黒字。町の公式説明も、危機的状況ではない（3月町議会町長答弁）

そうなの？



町長は議会答弁で、「経常収支比率99.6%ということは、経常収入によってすべての経常経費をまかなっているということができる。ただし、放漫経営になってはいかんで気を引き締めて収支バランスをとるように指示している」と説明しています。（今年の3月議会予算審査特別委員会で日本共産党議議員の質問に答えて）

### その②町独自の借金（地方債）は、他の自治体と比べても多くない

住民1人あたりの地方債の残高は→  
（2015年度版「決算カード」より）

宇陀市	85.1万円
五條市	73.9万円
奈良市	59.5万円
香芝市	47.0万円
広陵町	33.9万円

## 危機あおりの行き着く先は 住民サービスカット

「私は人気とりをするつもりは全くありませんので、負担増も頻繁にお願いした、値上げばっかりする町長やと言われそうなんですけれども。」昨年12月議会での町長答弁（議事録から）

ムチャクチャやっ



これまでも給食費の値上げ、国民健康保険税・介護保険料の連続値上げ



■今後さらに…  
こうした公共料金の値上げの事態を招きかねません。

# 広陵町はずーっと黒字決算

年度	決算黒字額
平成13年度	3億2414万円
平成14年度	2億6674万円
平成15年度	3億2838万円
平成16年度	3億8270万円
平成17年度	3億5292万円
平成18年度	5億246万円
平成19年度	4億4928万円
平成20年度	3億9536万円
平成21年度	4億5756万円
平成22年度	5億3662万円
平成23年度	7億6668万円
平成24年度	7億5308万円
平成25年度	6億2353万円

総務省が公表している全期間

新聞紙上などで、広陵町の経常収支比率は99.6%で県内自治体のなかでワースト4と報道されました。「ワースト4なのだから広陵町の財政は危機なのでは」との心配をされる住民の方から質問が寄せられています。実際はどのようなのでしょうか？

実際のところ広陵町の財政状況はこの14年間（総務省が公表しているすべての期間）の毎年の決算は黒字（普通会計の実質収支）です。平成26年度では5億6551万6千円もの黒字となっています。

## 積立金は約27億円

## 暮らし応援・サービス向上の財源はあります

広陵町の借金額は、平成18年度の160億391万6千円をピークに減り続け、平成26年度決算では109億55万円と51億336万6千円も減っています。毎年、これまでの借金を返済しながら、連続して黒字決算となっており、自治体の収入力を示す「財政力指数」は、生駒市、奈良市、橿原市、香芝市、王寺町について県内6番目という高さで、収入力はトップクラスです。それなのに、ことさら「財政難」を吹聴する人の意図は何なのでしょう？

## 「財政難なのでは？」との心配を振りまきながら、議員の報酬（期末手当）の引上に賛成する議員の「自分さえ良かったら」とも受け取れる無責任ぶりには呆れてしまうわ！（35歳女性）

日本共産党広陵支部は、財政政策を発表しました。

